

敬愛大学 シラバス 2021 年度後期 教育課程論 (中高)

授業番号	131B1048001	キャンパス	稲毛キャンパス
科目名(英語表記)	教育課程論(中・高)(Principles of Education)		
担当教員(英語表記)	武内 清(Kiyoshi Takeuchi)	履修開始学年	1 単位数 2
開講学期	2021年度 後期	開講曜日	木曜 5 限(オンデマンド授業)
授業のねらい・到達目標・実務経験と授業の関連性・DP,CP に於ける位置づけ	<p>教育課程の中核部分は、教育内容(カリキュラム)であり、その構造と実際を理解する。具体的には中学・高校の学習指導要領の内容とそれをもとに作られる教科書の内容や教え方に関して理解する。小中高の連続や連携についても理解を深める。</p> <p>また、潜在カリキュラムという言葉があるように、生徒が学校で学ぶ全てのことが、教育課程に含まれる。学校行事や部活動なども含め、生徒の学校におけるトータルな学習のメカニズム学ぶ。</p> <p>現代の社会の変化や教育や学校のシステムや制度と、教育課程との関連も理解する。グローバル化する社会の中で、国際的な視野に立ち、どのような教育課程の編成が、これからの社会にふさわしいかも考える力をつける。</p> <p>教員として、教育課程の原理や仕組みを理解し、主に教科指導を行う際の、教員としての力量を身につける。教科書を有効に使えるような力を身につける。</p> <p>「敬天愛人」の建学の精神に基づき、国際的な幅広い教養、教職の専門職性に基づく知識と思考力の養成、多様性の理解と異質な人々との協働性の育成、子どもへの理解と人間的に温かみのある教育者の育成を目指す(DP, CP.)</p>		
授業の進め方(履修条件、試験やレポートなど課題のフィードバック方法を含め)	KCNにアクセスし、講義ノート、授業資料を読み、質問(課題)に対する解答を、KCN送付してください。		
アクティブ・ラーニングの手法	各自の解答を随時、フィードバックして、双方型の授業を目指します。クラスフォーラムに、代表的な解答を毎回、提示します。		
成績評価方法と割合	毎回の質問(課題)に対する解答(リアクション・ペーパー)70%、最終レポート 30%		
《評価基準》			
評価	判定基準		
秀(S)	<p>下記の 5 項目に関して、的確に答えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育内容(カリキュラム)の構造と実際を、学習指導要領と関連付けて説明できる。 2 潜在カリキュラムについて、例を出して、説明できる。 3 現代の教育や学校のシステムや制度、組織、集団の実態と、教育課程との関連を説明できる。 4 国際的な視野に立ち、どのような教育課程の編成が、これからの社会にふさわしいかを説明できる。 5 教員として、教育課程の原理や仕組みを理解し、教材を有効に使えるような力が身につけている。 		
優(A)	秀で示した内容のうち 4 つ以上に関して、的確に答えられる。		
良(B)	秀で示した内容のうち 3 つに関して、的確に答えられる。		

可(C)	秀で示した内容のうち 2 つに関して、的確に答えられる。
不可	秀で示した内容に関して、2 つ未満しか的確に答えられない。

授業の予習・復習(1 授業に必要とする事前事後学習の内容と時間数を含め)	講義内容への理解や質問への解答の為、毎回1時間程度は、テキストと配信された授業資料を読むこと。質問に対する解答を書き上げた後は、1 時間程度、それに関連する内容の新聞記事や過去の学習内容や新聞記事を読み、いろいろ考える。
教科書、ISBN	中学校学習指導要領(平成 29 年度告示)解説 総則編 平成 29 年 7 月 文部科学省、ISBN978-4-8278-1559-7
参考文献	高野良子・武内清編『教育の基礎と展開』(学文社、2016)

回数	授業項目	授業内容
第 1 回	教育課程とは	教育課程の定義、構造
第 2 回	教育課程に 2 側面	フォーマルな側面とインフォーマルな側面
第 3 回	学習指導要領の変遷	学習指導要領の変遷 と現在の特質、他
第 4 回	アクティブ・ラーニング	「主体的・対話的で深い学び」について
第 5 回	さまざまな教育論	さまざまな教育論を読み、教育、教育内容について考える
第 6 回	学校と地域社会	学校と地域社会の関係を考える。
第 7 回	学校と地域社会(その2)	ネイションとカントリーの違い、故郷について考える
第 8 回	中学生・高校生の特質	生徒の心身の発達や特性の実態に応じた教育のあり方を考える
第 9 回	ジェンダーと教育	ジェンダーとは、学校におけるジェンダー差別、現代の問題
第 10 回	中高校生といじめ	中高校生のいじめ問題、ネットいじめ、いじめ指導について考える
第 11 回	進路指導、キャリア教育	キャリア教育の観点から教育内を考える。
第 12 回	多文化教育	外国籍の子どもの教育、多文化カリキュラムの実際
第 13 回	不登校問題	不登校問題を考える
第 14 回	デジタル教育、遠隔教育	新型コロナ禍の教育、デジタル教育のあり方を考える。
第 15 回	まとめとレポート課題	全体のまとめをして、レポートの課題を出す。

《教職に関する情報》			
免許状取得のための科目区分(必修/選択)	必須科目	担当形態	単独
科目			
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		